

## 国際インベスター・リレーションズに関する セミナーとロールプレイングセッション

開催日：2016年10月3日(水) 場 所：経団連会館

来 賓：ピーター・ケネバン マッキンゼー&カンパニー シニア・パートナー  
ほか

近年、欧米を中心に、企業に積極的に提言等を行い、企業価値の向上を目指す投資家、いわゆる「アクティビスト」の活動が注目を集めている。アクティビストとの関係は、わが国企業のコーポレートガバナンス上、重要なテーマとなっている。そこで、経済広報センターは10月3日、世界的なコンサルタント会社マッキンゼー&カンパニーの協力を得て、国際インベスター・リレーションズ(IR)の最新状況を聞くセミナーならびにアクティビストにかかわる実際のケースを想定したロールプレイングセッションを開催した。

会合の席上、マッキンゼーのピーター・ケネバン シニア・パートナーは、「アクティビスト自体にはさまざまな評価があるが、彼らの考え方を理解し準備することは、日本企業にとり重要である」としたうえで、「企業価値の最大化を積極的に進めることが、アクティビストに対する最善の防御策」と発言した。

ロールプレイングセッションでは、ドキュメントソリューション事業を持つ、時価総額約100億ドルの多国籍企業が、アクティビストから、「同事業を売却し、業務プロセスやICTのアウトソーシングに資源を集中させるべき」との要求を突きつけられるケースを想定した。このシナリオのもとで、会員企業役員等24名が、アクティビスト側と企業経営者側に分かれ、上記多国籍企業の事業別業績推移や同業他社との利益率等の比較等のデータを駆使して白熱したやり取りを展開した。

以 上



(セミナー風景)



(ロールプレイング風景)